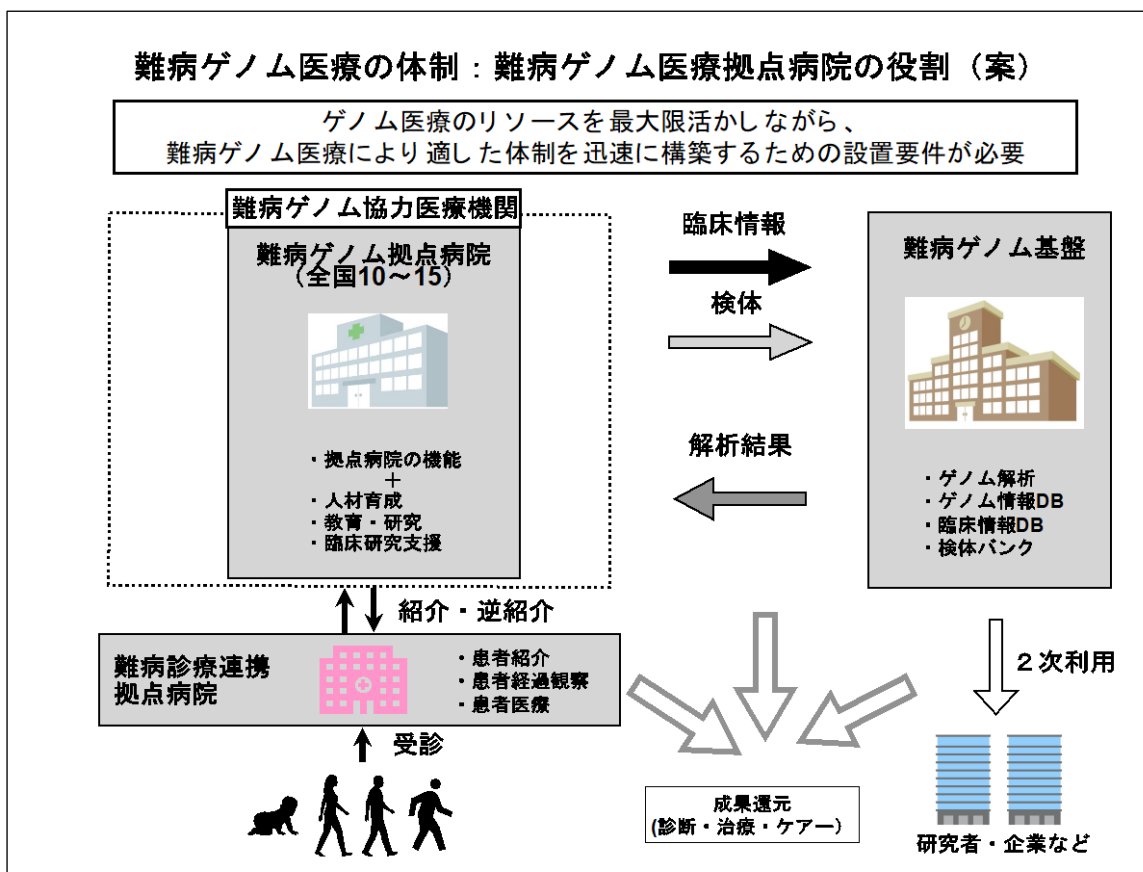


難病ゲノム医療における協力医療機関の体制に関する検討

竹内 勤

慶應義塾大学 医学部



1. 難病のゲノム医療提供体制とがんゲノム医療提供体制の異動について検討し、難病ゲノム医療では、単一遺伝子疾患を当面の対象とすること、この場合には、希少性、遺伝性の観点で、がんゲノム医療とは大きく異なる事を取りまとめた。
2. ゲノム医療のリソースを最大限活用しながら、難病ゲノムより適した体制を迅速に構築する必要がある事を提言した。
3. 難病ゲノム拠点病院の役割と、そこに設置されるエキスパートパネルの設置要件（案）を取りまとめた。

